Donation of the Leading University

リーディング･ユニバーシティー法政募金 実績のご報告とご案内

募金の概要

「リーディング･ユニバーシティー法政」募金は、本学の教育･研究活動を多岐にわたりご支援いただく使途指定型募金制度として2005年度より募集を開始し、第1期（2005年12月～2011年5月）および第2期（2011年6月～現在）に分けて募集をいたしました。第2期は、寄付者の皆さまからのご意見をもとに、第1期の使途を再編成し、現在は65以上の使途につきまして皆さまにご支援をお願いしております。皆さまより賜りましたご寄付は、ご指定いただきました使途により、本学の教育･研究活動のため有意義に活用させていただいております。

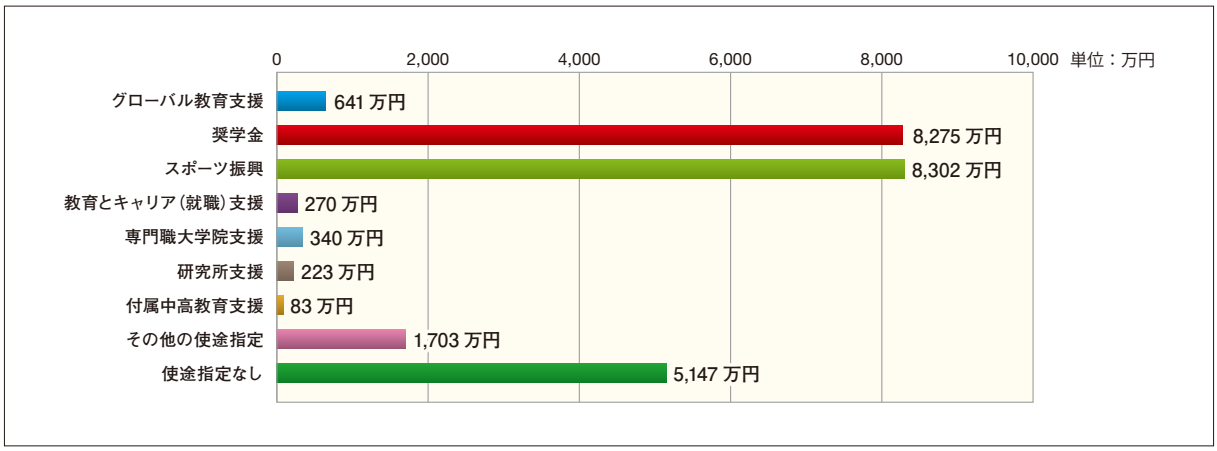
2015年度募金実績報告(2015年4月～2016年3月)

2015年度は、個人･団体様から1億3600万1713円（1,852件）、法人様から1億1382万8568円（65件）、合計2億4983万281円のご寄付を賜りました※1。

使途ごとの内訳は、「グローバル教育支援」が640万8046円、「奨学金」が8274万8845円、「スポーツ振興」が8301万5886円、「教育とキャリア（就職）支援」が269万8066円、「専門職大学院支援」が340万3500円、「研究支援」が222万6600円、「付属中高教育支援」が82万9800円、「その他の使途指定」が1702万5340円、そして「使途指定なし」として5147万4198円のご寄付をいただきました。「使途指定なし」として賜りましたご寄付は全額、家計が急変し修学が困難な学生の支援、難関資格試験合格者やスポーツにおいて優れた成績をおさめた団体等に給付する奨学金として使わせていただく予定です。

※1　受配者指定寄付金以外の法人様からのご寄付は、個人･団体様に含めて算出しております。

リーディング･ユニバーシティー法政募金　募金実績（2015年度：2015年4月1日～2016年3月31日）



合計2億4983万281円（1,917件）

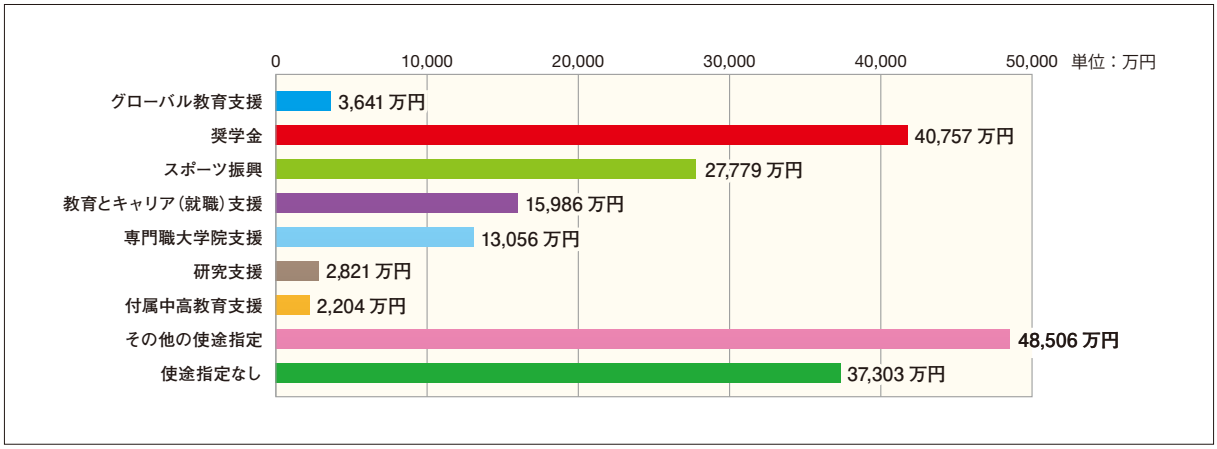
募金開始時からの募金実績報告（2005年12月～2016年3月）

2005年度の募金開始当初から、皆さまより多くのご厚志をいただき、個人･団体様から9億5714万7337円、法人様から9億6337万1349円、合計19億2051万8686円のご寄付を賜りました※1。

使途ごとの内訳は、「グローバル教育支援」が3640万8046円、「奨学金」が4億756万6610円、「スポーツ振興」が2億7778万9891円、「教育とキャリア（就職）支援」が1億5986万4625円、「専門職大学院支援」が1億3056万4620円、「研究支援」が2820万5100円、「付属中高教育支援」が2203万6283円、「その他の使途指定」が4億8505万5875円、そして「使途指定なし」として3億7302万7636円のご寄付をいただきました。「使途指定なし」として賜りましたご寄付は全額、家計が急変し修学が困難な学生の支援、難関資格試験合格者やスポーツにおいて優れた成績をおさめた団体等に給付する奨学金として使わせていただいております

※1　受配者指定寄付金以外の法人様からのご寄付は、個人･団体様に含めて算出しております。

リーディング･ユニバーシティー法政募金　募金実績（累計：2005年12月～2016年3月）



合計19億2051万8686円

教室設備を リニューアルしました

「学部教育の充実」の使途を指定して皆さまから賜りましたご寄付により、富士見坂校舎（市ケ谷キャンパス）の教室設備をリニューアルいたしました。

現在、法政大学では「アクティブラーニング」の普及に力を入れています。「アクティブラーニング」とは、学生たちが自ら読む、議論する、書くなどの行動の中で、社会で生き抜く力をつけていくことです。

皆さまのご支援により新しくなった教室設備により、より効果的な「アクティブラーニング」を実践してまいります。

教室全景(上)、電動スクリーン（左下)、プロジェクター（右下）

奨学金を受給した学生から感謝の声が届いています

厳しい経済情勢の中、学生の多くは、学費や生活費を賄うために、年間を通してアルバイトをしており、学業に専念できない苦しい環境にあります。とりわけ、自宅外通学生は、仕送り額の減少に伴い、厳しい状況に追い込まれています。

現在、学生全体の約3割が何らかの形で奨学金を受給しており、その大半が卒業後に返還義務のある貸与型奨学金です。学生たちは、返還しなければいけない金銭を抱えた状態で、社会に出ていくのです。

「奨学金」の使途を指定して皆さまから賜りましたご寄付は、経済状況が急変した学生を支援する奨学金の原資として使わせていただいています。皆さまからのご寄付により、毎年多くの学生に奨学金を給付することができています。これからも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

<学生からのメッセージ>

家計急変学生支援奨学金を受けさせていただき、勉学に費やせる時間が多くなりました。私は家計急変により、学費の一部を払うため、勉学よりもアルバイトを優先するようになっていました。この奨学金のおかげで、アルバイトにかける時間を少なくすることができたため、以前よりも勉強面で時間を使うことができました。そのため、奨学金を受けた後に成績は上がりました。

おそらく大学には私のように家庭の事情により、学費の支払いが困難になっている方がいると思います。しかし払えないとあきらめず、大学の奨学金制度を頼って欲しいと思います。奨学金に頼ることによって、大学生活の充実度は必ず上がると思います。

私は、2015年に法政大学家計急変学生支援奨学金を申請し、給付金をいただきました。大学3年生の時に父親が脳溢血で倒れ、そのことが原因で会社を退職することになりました。そのため、4年生に上がってから授業料の支払いが困難になりましたが、法政大学家計急変学生支援奨学金を頂いたことで授業料を支払うことができ、無事卒業することができました。

卒業後の活動としましては、家計急変学生支援奨学金のおかげにより就職できたということもあり、正社員として社会に貢献していきたいと考えています。奨学金を頂いて今があることを忘れず今後社会人として学生の時にもらった恩を返していきたいと思っています。

家計急変者向けの奨学金に採用されて受けたメリットはその金額以上に大きいものがありました。父の仕事の関係で家計状況が悪化し、学費の準備が難しくなる中で休学も視野に入れて検討しましたが、それには時間的にも金銭的にも大きな負担がかかることに加えて、進路に対するリスクも生じます。この奨学金に採用されたことと母の協力のおかげで何とか学費を準備できました。結果、大きな負担やリスクを取ることなく、今まで以上に自分の進路や学業に対するやりがいを見い出すこともできました。

経済的に苦しいときは精神面へ影響が出ることも否めないことだと思います。そのような状況下で皆さまからこのような形のサポートを受けることができたことは、私の学生生活に大きなプラスの要素になりました。ありがとうございました。

この度は家計急変学生支援奨学金を給付して頂き、本当にありがとうございました。大学を受験している最中に両親が離婚し、生活費の捻出もままならないほどの状況が続いていた為、学費の納入も困難を極め、代わりにどこかからお金を借りてくるあてもなく、本当にそういった理由で一生懸命に努力して入った大学をもうやめなければいけないのかと途方に暮れていたので、奨学金を給付して頂き、この上なく感謝しています。この奨学金のおかげで今も大学に通うことができています。

このことを無駄にはせず、二年生からはより一層勉学に励み、大学でより多くのものを学び得たいと思っています。今後も経済的に厳しい状況は続きますが、アルバイトと節約を最大限し、大学に4年間通い立派な卒業生、社会人になって社会に貢献していきたいと思います。

体育会クラブからお礼のメッセージが届いています

法政大学のスポーツクラブの活動は、皆さまのご支援により支えられています。
各クラブは、法政スポーツを通して、皆さまと多くの感動を分かち合うことができるよう、日々厳しい練習、稽古に励んでいます。これからも選手への支援と先端的な指導法を導入して、法政大学のスポーツクラブの強化を図ってまいります。

<体育会重量挙部からのメッセージ>

重量挙部は、1952年の創部以来、三宅義信をはじめとする多くの名選手を輩出し、オリンピックでは金2、銀3、銅3個のメダルを獲得しております。ロンドン五輪では三宅宏実が48kg級で銀メダルを獲得しましたが、昨年の世界選手権でも銅メダルを獲得し、リオ五輪への出場が決まっております。

現役部員は20名で、4月の全日本学生選抜では4年の篠原航平が77kg級で、2年の野中雅浩が+105kg級で、5月の全日本学生個人では主将の比嘉翔矢が+105級で優勝しました。野中は世界ジュニア選手権の代表にも選ばれました。4年の赤松哲郎は学生のレベルを超えて4月のアジア選手権に出場し、94kg級で9位という成績をおさめました。

我々がこのような成績を残してこられましたのも、卒業生をはじめとした寄付者の皆様のご支援があってのことであります。心より御礼申し上げます。

受給いたしました寄付金は部の運営費用に使わせていただいております。重量挙げは非常に繊細な競技で、わずかな体重の増減でも成績に大きく関わってきます。そこで重要になってくるのが体調管理です。普段からプロの栄養士の綿密な指導を受け、大事な試合の前には調整合宿を行い、試合に臨める身体を作り上げております。このような充実した環境を維持できておりますのも、皆様のおかげです。

これからは12月のインカレ団体での優勝は言うまでもなく、学生記録、日本記録を目指し、2020年の東京オリンピックに一人でも多くの法政出身者が出場できるよう、精進していきたいと思っております。

今後もご支援、ご声援のほど、よろしくお願いいたします。

<体育会ラグビー部からのメッセージ>

法政大学体育会ラグビー部は、1924年に創部し、現在約90名の部員で活動しております。全国大学ラグビーフットボール選手権大会（大学選手権）3回優勝、5回準優勝という実績を上げております。また、関東大学ラグビーリーグ戦グループの一部リーグ(リーグ戦)で13回優勝しています。近年の成績として、2013年にリーグ戦6位、2014年にリーグ戦3位・大学選手権セカンドステージ出場、2015年にリーグ戦5位・大学選手権セカンドステージ出場と、必ずしも満足のいくものではありません。本年度は、リーグ戦優勝、大学選手権4位以上を目標に、チームスローガンとして「REBORN」を掲げ、「強い法政ラグビー部の復活」をはかるために、チーム一丸となって練習に励んでおります。

これまで、当部に、リーディング･ユニバーシティー法政募金による寄付をしてくださいました皆様方に、心よりお礼申し上げます。当部が、日々、リーグ戦優勝・大学選手権4位以上という高みに向けて、ラグビースキルの向上を図りトレーニングに励むことができていますのは、ひとえにご支援して下さっている皆様方のお陰です。多くの方々からのご支援がなければ、当部の活動は成り立ちません。

寄付金の具体的な使い道としては、用具費、合宿費、ボランティアで当部を指導して下さっているコーチの交通費などに使用させていただいております。リーグ戦が9月から開幕する関係で、当部は、例年8月に、合宿を約3週間にわたって実施します。12月から翌年1月の大学選手権までの長いシーズンに向けて、チームづくりに欠かせない合宿となっております。合宿の期間が長いため、それには多額の費用が必要となります。

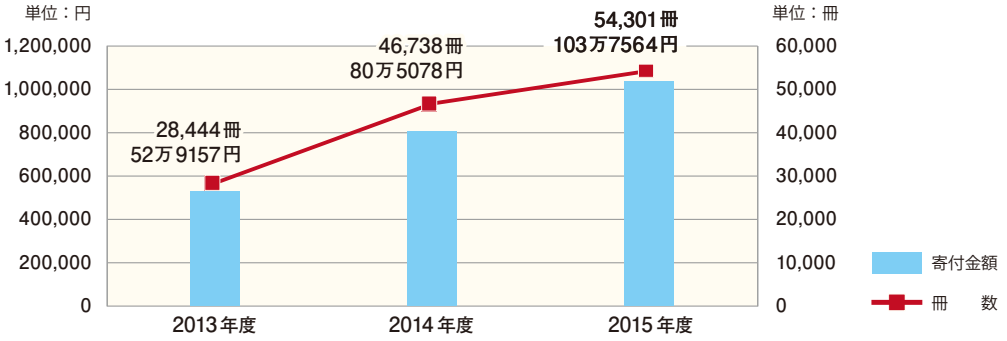
伝統あるラグビー部の輝かしい実績にさらなる成果を加えるために、すべての部員が全力で励んでいく所存です。これからも変わらぬご支援とご声援を、どうぞよろしくお願いいたします。

Donation of Secondhand Book

古本募金　実績のご報告とご案内

古本募金は、皆さまが読み終えた書籍や不要になったDVD・CD・ゲームソフトをご提供いただくと、その買取額が全額大学に寄付され、家計急変学生支援奨学金の原資の一部として、経済的支援を必要としている学生に給付されるプロジェクトです。2015年度は、延べ412名の方から、54,301冊の書籍等をご提供いただき、103万7564円を大学に寄付していただきました。古本募金を開始しました2013年度からの累計は、129,483冊で237万1799円となりました。今後も引き続き、古本募金を通じて大学へのご支援を賜りたく存じます。

古本募金　募金実績（2013年4月～2016年3月）



古本募金のご案内

皆さまの読み終えた書籍や不要になった書籍が、経済的に困窮する学生の支援につながります。

「法政大学古本募金」は、皆さまからご提供いただいた書籍の買い取り金額が法政大学家計急変学生支援奨学金に役立てられるプロジェクトです。ご自宅では段ボール箱に詰めて申込み（電話またはWEB）をするだけ。5点以上ならば送料は当プロジェクトが負担いたします。

お申込み方法

STEP1 梱包

書籍類を段ボール箱に詰め、申込書をご記入のうえ、本と一緒に入れて下さい。

※申込書は、法政大学古本募金ホームページでダウンロードできるほか、下記資料（申込書）請求先にご請求いただくことも可能です。

※段ボール箱が複数になる場合でも、申込用紙は1枚で構いません。

▼

STEP2 お電話

提携会社バリューブックス 0120-826-292 に電話し、「法政大学 古本募金」とお伝えください。

◆電話受付時間10:00～21:00 日曜は17:00まで　◆宅配業者がご指定の場所に伺います。

▼

STEP3 寄付

提携会社バリューブックスにて、買い取られます。
その買い取り金額は、「法政大学 家計急変学生支援奨学金」に寄付されます。

皆さまのご寄付は、「家計急変学生支援奨学金」として役立てられます。

お申込みはWEBからもできます。

法政大学　古本募金　検索

http://www.furuhon-bokin.jp/hosei/

資料（申込書）請求先

法政大学　卒業生・後援会連携室（募金担当）
TEL. 03-3264-9807（受付時間 平日9～17時）
Email. koyu@hosei.ac.jp
※資料送付先の住所・氏名をお知らせください。